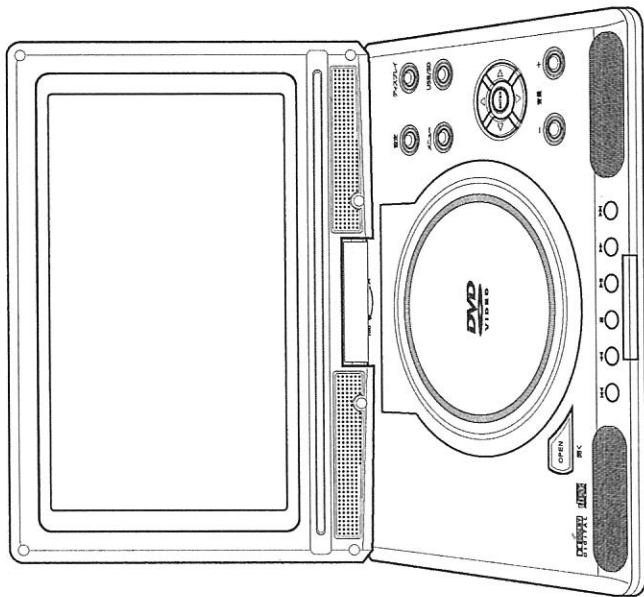


AucSale

DPD-900BK

CPRM対応
9インチポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書



本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

DVD
VIDEO

DOLBY
DIGITAL

COMPACT
DISC
DIGITAL AUDIO

目次

音楽CDを再生する	26
音楽CDをセットする	26
再生の基本操作	26
いろいろなるファイルを再生する	27
基本操作方法	27
再生の基本操作	27
設定	28
設定の基本操作	28
言語設定	28
映像設定	29
音声設定	30
視聴制限設定	31
その他設定	31
故障かな…?と思ったら	32
仕様	33
保証とアフターサービス	34

目次

はじめに	4
本取扱説明書の内容について	4
リージョン番号について	4
セット内容	4
安全上の注意	5
使用上のお願ひ	9
ディスクの取扱いと用語	10
再生できるディスクについて	10
各部のなまえ	12
本体	12
本体側面	13
リモコン	14
リモコンの準備	15
電池の交換方法	15
リモコンの使用方法	15
接続のしかた	16
映像・音声出力の接続をする	16
デジタル音声出力の接続をする	17
AC電源アダプターと接続する	18
シガーソケット電源アダプターと接続する	19
充電池について	20
充電池を充電する	20
メディアをセットする	21
ディスクをセットする	21
USBをセットする	21
メモリーカードをセットする	21
基本操作	22
電源のオン/オフ	22
再生モードを切り換える	22
音量の調節	23
ヘッドフォン/イヤフォンを使用する	23
モニタ部を回転させる	23
ボタン操作	24

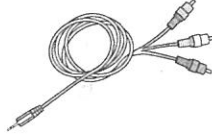
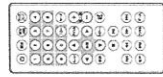
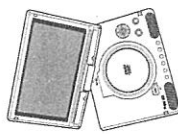
本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク製作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品ではディスク製作者側が意図した内容に従って再生をおこなうため、操作した通りに動作しない事があります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

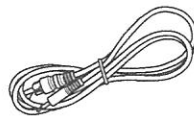
セット内容

本製品パッケージ内には下記のセット内容が含まれます。お確かめください。

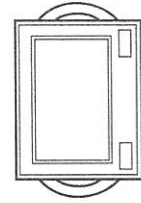
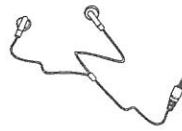
1. プレーヤー本体
2. リモコン
3. リモコン用電池
4. AVケーブル



5. 同軸デジタルケーブル
6. AC電源アダプター
7. シガーソケット電源アダプター



8. イヤホン
9. キャリングケース
10. 取扱説明書
11. 保証書



- ご使用前の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表示の説明

表示	表示の意味
	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
	取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど・感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家具・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図記号	図記号の意味
	⊘ は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	ⓘ は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	⚠ は、注意(警告を含む)を示します 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき



煙が出たり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。


内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落したり、本体を破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだり、電源プラグが異常に熱くなった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

上記の問題等が発生した場合は、電源プラグを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。

お使いになる前に必ずお読みください。

<p>設置されるとき</p> <p>屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと。 火災・感電の原因となります。</p> <p>電源プラグは、家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p>シガーソケット電源アダプターは、12V車のシガーソケットに接続すること。 12V車以外のシガーソケットを使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p>ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。 本製品が落ちて、けがの原因となります。</p> <p>上に物を置かないこと。 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。</p>	<p> 水ぬれ禁止</p>	<p> 指示</p>	<p> 禁止</p>	<p> 上置せ禁止</p>
<p>ご使用になるとき</p> <p>修理・改造・分解をしないこと。火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理は、サポートセンターにご相談ください。</p> <p>ディスクトレイなどから異物を入れられないこと。 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p> <p>雷が鳴りだしたら、本製品に触れないこと。感電の原因となります。</p>	<p> 分解禁止</p>	<p> 異物挿入禁止</p>	<p> 接触禁止</p>	<p> 禁止</p>
<p>お手入れについて</p> <p>電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとることを。 電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。</p>	<p> 指示</p>			

お使いになる前に必ずお読みください。

<p>設置されるとき</p> <p>温度の高い場所に置かないこと。 直射日光の当たった場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。その他、部品の劣化や破損の原因となる場合があります。</p> <p>湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。</p> <p>風通しの悪い場所に置かないこと。 内部温度が上昇し、火災の原因となる場合があります。 ・壁に押しつけないでください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ・テールランプ・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ・仰向け・横倒し・逆さまにしないでください。</p>	<p> 禁止</p>	<p> 禁止</p>	<p> 禁止</p>	<p> 指示</p> <p>移動させる場合は、電源プラグや外部との接続コードを外すこと。 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒し、けがの原因となる場合があります。</p>
<p>ご使用になるとき</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと。 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。</p> <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電の原因となります。</p> <p>旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。 万一故障したとき、火災の原因となる場合があります。</p>	<p> 引っ張り禁止</p>	<p> ぬれた手禁止</p>	<p> 電源プラグを抜く</p>	<p> 禁止</p> <p>ディスクトレイに、手を入れられないこと。 指をささみ、けがの原因となる場合があります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>
<p> 禁止</p> <p>ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。 ディスクは本製品内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。</p>	<p> 禁止</p>			

ご使用になるとき

⚠ 注意

電源を入れる前には音量を最小にすること。また、接続しているテレビなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出た聴覚障害などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ヘッドフォン・イヤフォンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

リモコンに使用している電池は

- ・極性(+)と(-)を間違えて挿入しないこと。
- ・充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れてたりしないこと。
- ・電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れてたままにしておかないこと。

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電源コードやケーブルを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したりしないこと。火災・感電の原因になることがあります。

液晶モニタに衝撃をあたえないこと。けがの原因になることがあります。本製品の上に重量物を載せたり、本来の目的以外に使用しないこと。けがや故障の原因になります。傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。けがや故障の原因になります。

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにほかのテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- ・ほかのテレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・ほかのテレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・コンセントを別にする

ケーブルは足などに引っかかるらないように、配線すること。また上に重量物を載せないこと。熱器具のそばに配線しないこと。足に引っかかると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

使用上のお願

取扱いに関する

■引っ越しなどで、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

■殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

■長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。

■普段使用しないときは必ずディスプレイを取り出し、電源を切っておいてください。

■長時間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、使用してください。

置き場所に関する

■本製品は水平な場所に設置してください。ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所では使わないでください。ディスプレイが外れるなどして、故障の原因となります。

■本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品で再生中に、画像や音声が聞こえない、本製品の電源が入らない、ディスプレイが壊れるなどの原因があります。また、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関する

■液晶モニタやボタン等のご扱いは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

■よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ペンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露(曇付き)について

結露はディスプレイや本製品を傷めます。よくお読みください。

“結露”はこんなときおきます。

- 本製品を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなど冷風が直接あたる場所で使用したとき。
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
- 湯気が立ちこめるなど、湿度の高い部屋で使用したとき。

※結露がおきそうなときは、本製品をすぐにご使用にならないでください。

●結露がおきた状態で本製品をお使いになりますと、ディスプレイや部品を傷めることがあります。ディスプレイを取り出し、本製品の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくとき、本製品があたたまり、2～3時間で水滴をとります。または、コンセントに接続しておくとき“結露(曇付き)”が生じにくくなります。



日本国内専用

■本製品を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧等が異なりますので使えません。

ディスクの取扱いと用語 -1-

再生できるディスクについて

■本製品では、下記のディスクを再生することができます。

メディア	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ ディスク		映像(動画)+音声	12 cm
音楽用CD		音声	12 cm 8 cm

■以下のディスクも再生できます。

- ・DVD+R/+RW
- ・DVD-R/-RW(ビデオモード)
- ・CPRM方式で記録されたDVD-R/-RW
- ・CD-R/RW

※上記以外のディスクは再生できません。

- 上記のディスクでも、規格外のディスクや、傷や汚れ、記録状態や記録機器、記録ソフトの特性等により、再生できないことがあります。
- すべての記録終了時に、終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないディスクは再生できません。
- 本製品はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(SECAM/PAL)表示のディスクには使用できません。
- 本製品DVDリージョン番号は2番です。再生するDVDにリージョン番号が表示されている場合は、そのリージョン番号マークの中に「2」または「ALL」が表示されていないと、本製品では再生できません。
- 円形以外の特殊な形状(カード型等)のディスク、紙やシールの貼られたディスクは再生できません。
- 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

注意

- ディスク/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作・再生など行えない場合があります。
- CPRM方式で記録されたディスクでも、場合によっては正常に再生できない場合があります。

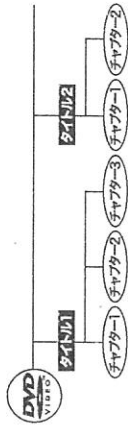
ディスクの取扱いと用語 -2-

ディスクに関する用語について

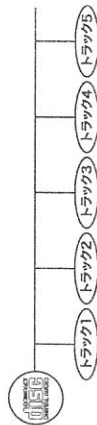
■一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD/音楽用CDなどは「トラック」で区切られています。

タイトル : DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。



トラック : 音楽用CDなどの内容を区切ったものです。



●それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

複製制限機能のついた音楽CDの再生について

■複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ディスクの取扱い方

■ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

■よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

■再生面には手を触れないでください。



※ディスクに紙やシールを貼らないでください。

※シンナーやベンジン、アナログレコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

※鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
※傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。

ディスクの保管の仕方

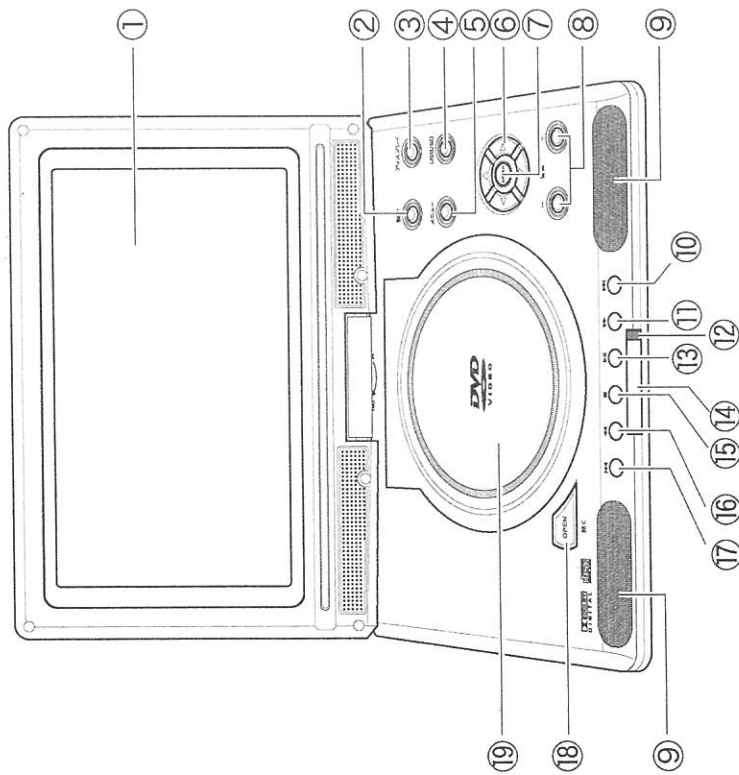
■直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。

■浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

■ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れて重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

各部のなまえ -1-

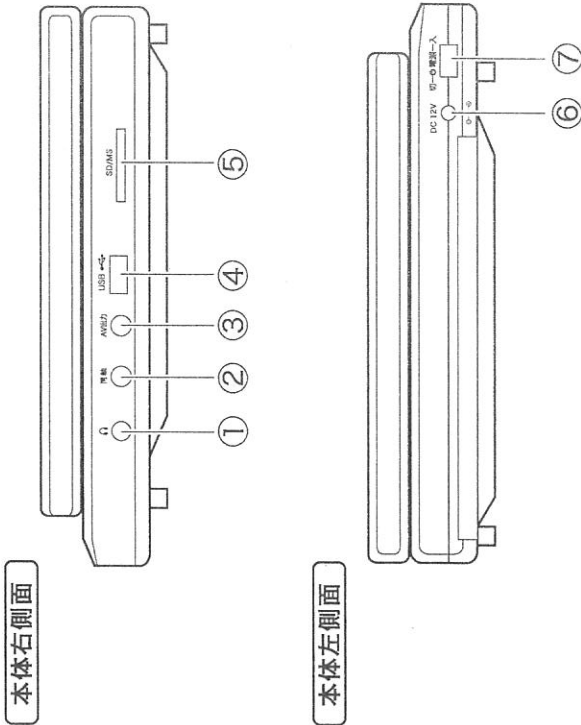
本体



- ① モニタ
- ② 設定ボタン
- ③ ディスプレイボタン
- ④ USB/SDボタン
- ⑤ メニューボタン
- ⑥ ナビゲーション(▲▼◀▶)ボタン
- ⑦ ENTER(決定)ボタン
- ⑧ 音量+/-ボタン
- ⑨ スピーカー
- ⑩ スキップ・次ボタン
- ⑪ 早送りボタン
- ⑫ 電源ランプ
- ⑬ 再生/一時停止ボタン
- ⑭ リモコン受光部
- ⑮ 停止ボタン
- ⑯ 早戻しボタン
- ⑰ スキップ・前ボタン
- ⑱ ディスクトレイ開閉ボタン
- ⑲ ディスクトレイ部

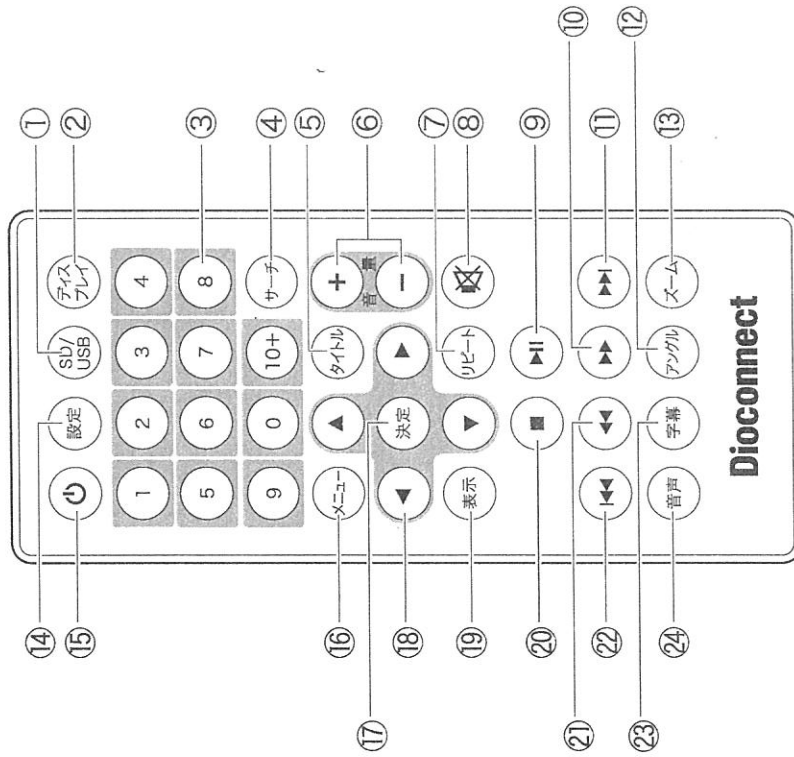
各部のなまえ -2-

本体側面



- ① ヘッドフォン出力端子
- ② 同軸デジタル音声出力端子
- ③ 映像音声出力端子
- ④ USB端子
- ⑤ カードスロット(SD/MSカード)
- ⑥ 電源入力端子
- ⑦ 主電源スイッチ

リモコン



- ① SD/USBボタン
- ② ティスプレイボタン
- ③ 数字ボタン
- ④ サーチボタン
- ⑤ タイトルボタン
- ⑥ 音量+/−ボタン
- ⑦ リピートボタン
- ⑧ 消音ボタン
- ⑨ 再生/一時停止ボタン
- ⑩ 早送りボタン
- ⑪ スキップ・次ボタン
- ⑫ アングルボタン
- ⑬ スムボタン
- ⑭ 設定ボタン
- ⑮ 電源ボタン
- ⑯ メニューボタン
- ⑰ 決定ボタン
- ⑱ ナビゲーション(▲▼◀▶)ボタン
- ⑲ 表示ボタン
- ⑳ 停止ボタン
- ㉑ 早戻しボタン
- ㉒ スキップ・前ボタン
- ㉓ 字幕ボタン
- ㉔ 音声ボタン

リモコンの準備

注意

- リモコンに使用している電池について
 - ・対応の電池以外は使用しないこと
 - ・極性を間違えて挿入しないこと
 - ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしないこと。
 - ・[使用推奨期限]を過ぎた電池や、使用済みの電池はリモコンに入れたままにしないこと。

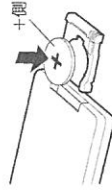
※これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池の交換方法

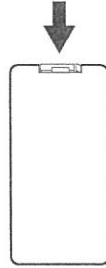
- ① リモコン裏面にある電池ケース用ロックを横に押しながら、スライドさせてケースを取り出します。



- ② 新しい電池(タイプCR2025)を、+極を上に向けて電池ケースにセットします。

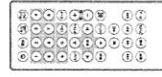
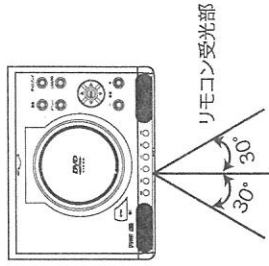


- ③ 電池ケースを元に戻します。



- リモコンを、プレーヤー本体のリモコン受光部に向けてボタンを押します。
- ※ リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光がある場合、リモコンが動作しないことがあります。
- ※ リモコンの到達距離は約3m以内です。

リモコンの使用方法



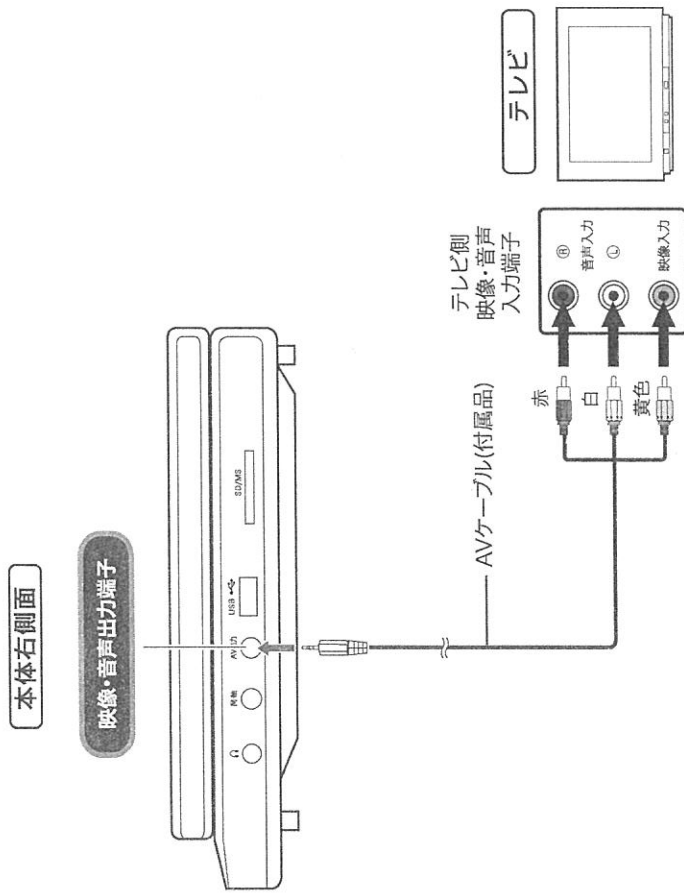
注意

- 電池について
 - ・リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しい電池と交換してください。
 - ・リモコンについて
 - ・落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ・高温・高湿になる場所に置かないでください。

接続のしかた -1-

映像・音声出力の接続をする

- 接続する前に
 - ・本製品および接続する機器の主電源を「オフ」にしてください。(→P.22)
 - ・接続する機器の説明書もお読みください。
- 本製品の映像と音声をテレビに出力する



(注) イラストと実際の付属品形状が若干異なる場合があります。

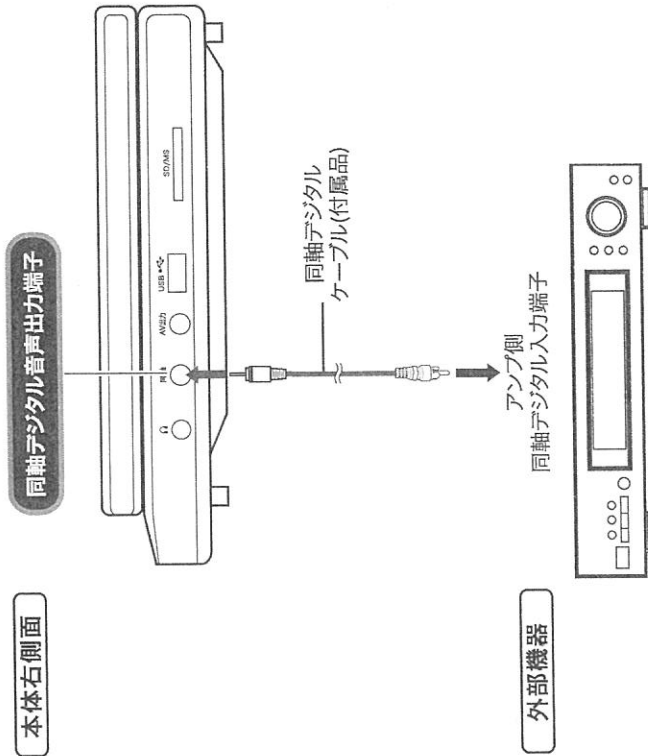
注意

- ・接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、本製品からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働き等により正常な画像にならないことがあります。

接続のしかた -2-

デジタル音声出力の接続をする

- 接続する前に
 - ・本製品および接続する機器の主電源を「オフ」にしてください。(→P.22)
 - ・接続する機器の説明書もお読みください。
 - ・突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調整してください。
 - ・本製品の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜いたりするときは、必ず接続機器の電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。
- 接続した後に
 - ・音声設定にある、『デジタル出力』設定をおこなってください。(→P.30)
- ドルビーデジタルデコーダー内蔵のデジタルアンプと接続する



(注) イラストと実際の付属品形状が若干異なる場合があります。

注意

- ・接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・ドルビーデジタル対応のDVDをお使いください。
- ・本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、本製品からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働き等により正常な画像にならないことがあります。

接続のしかた -3-

AC電源アダプターと接続する

■接続する前に

- ・AC電源アダプターを本体に接続するときは、本体にDC電源プラグを差し込んでから家庭用電源コンセントに接続してください。
- ・主電源を「オフ」にしてください。(→P.22)



警告

- ・電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



注意



注意

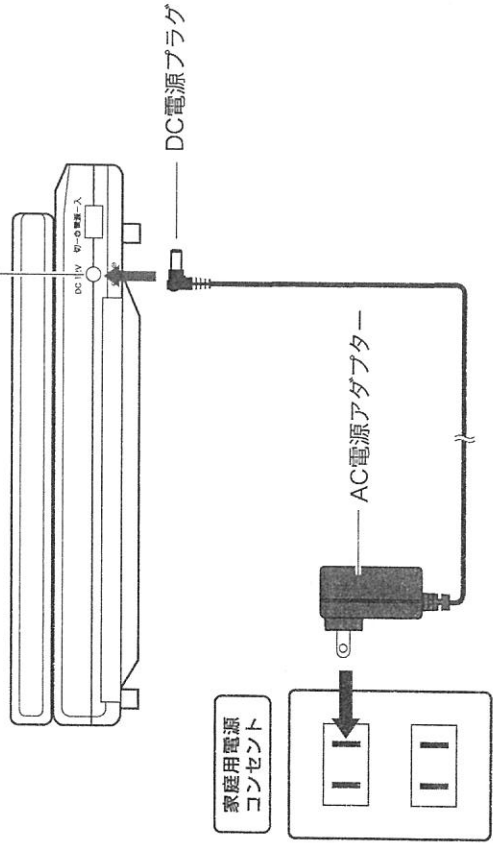
- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となります。
- ・DC電源プラグを本体の電源入力端子に差し込んだときに、完全に根元に差し込まれたことを確認してください。
- ・AC電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ・AC電源アダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因をなすことがあります。
- ・AC電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

本体左側面

電源入力端子



(注) イラストと実際の付属品形状が若干異なる場合があります。

接続のしかた -4-

シガーソケット電源アダプターと接続する

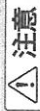


警告

- ・シガーソケット電源アダプターを使用時は、運転の邪魔にならないようにしてください。また、必ず付属のシガーソケット電源アダプターをご使用ください。
- ・自動車の運転中は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認した後に行ってください。
- ・コードを傷つけないでください。火災や断線の原因となります。
- ・濡れた手で触らないでください。感電する恐れがあります。
- ・安全のため、以下の場所には取り付けないでください。エアバッグの操作/効果の妨げになる場所/運転の妨げになる場所/突起物として危険が生じる場所/強い衝撃が加わる場所



指示

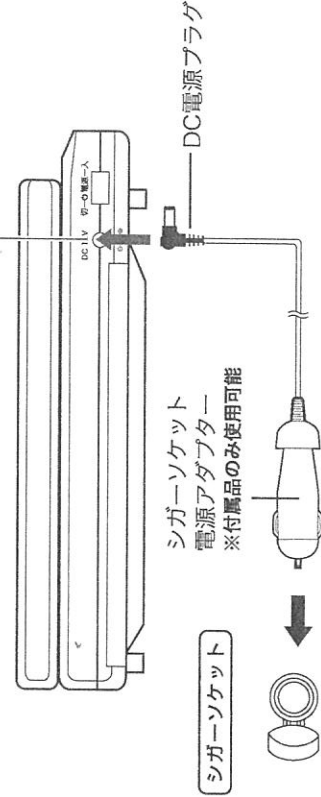


注意

- ・車の空調吹き出し口などの温度/湿度が特に高い場所や、直射日光があたる場所には設置しないでください。特に車内は非常に高温になる場合がありますので、ご注意ください。感電の原因となります。
- ・シガーソケット電源アダプターを車のシガーソケットに差し込むときに、根元まで完全に差し込まれたことを確認してください。
- ・シガーソケット電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ・シガーソケット電源アダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因となります。
- ・シガーソケット電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。
- ・外国車や国産車の一部車種によって、シガーソケットの形状が、適合しない場合があります。ご注意ください。
- ・車種によって、エンジン始動時に瞬間的に規定以上の電圧が供給される場合があります。そのような車種の場合は、エンジン始動時には本製品のシガーソケット電源アダプターを取り外しておいてください。
- ・車から離れる際は必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。バッテリー上がりの原因となります。

本体左側面

電源入力端子



注意：このシガーソケット電源アダプターは12V車専用です。24Vの自動車では使用できません。

(注) イラストと実際の付属品形状が若干異なる場合があります。

充電電池について

充電電池を充電する

■ 充電電池を充電する

- ① 本体の主電源がオフになっていることを確認します。
- ② 付属のAC電源アダプターを本体の左側面の電源入力端子に接続します。
- ③ AC電源アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ④ 充電が開始されます。
- 充電中は、充電電池パックの電源ランプが赤色に点灯します。
- 充電が終了すると電源ランプが青色に点灯します。
- ⑤ 充電が終了したら、速やかにAC電源アダプターの接続を解除します。

必要充電時間 …… 約 4 時間
最大再生可能時間 …… 約 2.5 時間

- ※ 充電が切れた後に再び充電を行う際は、10～20分間程、時間を置いてから再充電を行ってください。
- ※ 充電を行う際は、必ず付属のAC電源アダプターをご使用ください。
- ※ プレイヤーを使用中に充電の場合は、完了に約8時間程かかります。(電源ランプは紫色に点灯)

警告

禁止
充電電池を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池の液漏れ・発熱・発火・破裂により、大げんがや火災の原因になります。

- ・本製品に付属している充電電池以外を使用しないでください。
- ・充電電池が液漏れしたり、変色、変形その他の異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・充電電池の方向を逆にして製品にセットしないでください。
- ・充電電池の充電が所定充電時間を超えても完了しない場合は、充電を中止してください。
- ・充電電池を乱暴に扱ったり、強い衝撃を与えないでください。
- ・使用できなくなった充電電池を製品にセットしたまま放置しないでください。
- ・以上は、充電電池の液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となり、大げんがや火災の原因になります。充電電池から漏れた液が皮膚や服に付いた時は、すぐに水で洗浄してください。万一、液が目に入ってしまった場合には、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。

指示
万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙りが出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止して、製品から充電電池を取り外してください。使用を中止しないと、火災や感電の原因となります。
(やけどに十分に注意しながら充電電池を取り外してください。)
その後弊社サポートセンターにお問い合わせください。

・本製品をお手入れする場合には、主電源をオフにして充電電池を取り外してから行ってください。感電や、充電電池に異常が起こった場合やけどの恐れがあります。

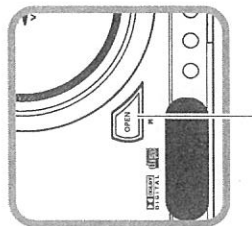
メディアをセットする

ディスクをセットする

本製品に対応した(DVD/CD)ディスクをセットすると、自動的にディスクが再生されます。

- ① 本体の(ディスクトレイ開)ボタンを押して、ディスクトレイを開きます。
 - ② ディスクを「カチッ」と音がするまでしっかりとセットします。
 - ③ ディスクトレイを指で押して閉じます。
 - ④ ディスクの読み取りが始まります。
 - ⑤ 読み取りが終了すると自動的にディスクの再生が始まります。
- ※ ディスクが自動的に再生されない場合は、本体/リモコンの(再生)ボタンを押してディスクを再生してください。

本体中面



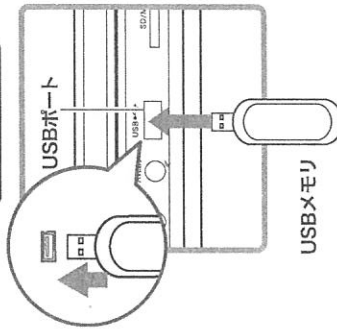
ディスクトレイ開ボタン

USBをセットする

● 本製品は、USBメモリ(別売)を接続して、保存されている動画/音楽/静止画ファイルの再生を行うことができます。

● 本体のUSBポートに、USBメモリ(別売)を接続し、接続が難しい場合は、USBケーブル/USB延長ケーブル(共に別売)を使用して接続してください。

本体右側面



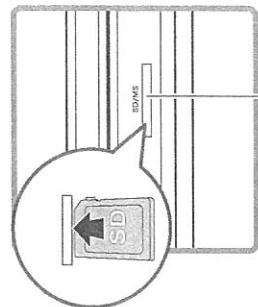
USBメモリ

メモリーカードをセットする

● 本製品は、SD、MSカード(全て別売)を接続して、保存されている動画/音楽/静止画ファイルの再生を行うことができます。

● 本体の電源がオンになっていないことを確認し、本体のカードスロットに、カードをしっかりとセットし、セットされたことを確認したら、本体の電源をオンにします。

本体右側面



カードスロット

本製品には、メディアの再生モードを切り換える機能があります。(→P.22)
再生したいメディアを個別に本体にセットしてお使いください。
モードの切り換えをする場合は、かならず再生を停止した状態でおこないます。

注意

・一部対応していないメディアがあります。あらかじめご了承ください。

基本操作 -1-

電源のオン/オフ

主電源のオン/オフ

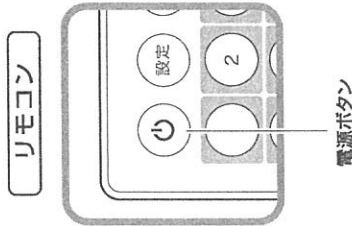
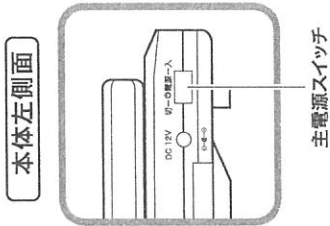
■ 本体左側面の〈主電源〉スイッチを「入」の方向に切り換えて、電源をオンにします。ディスプレイがすぐに入っている場合は自動的にディスプレイの再生が始まります。

■ 主電源をオフにする場合は、本体左側面の〈主電源〉スイッチを「切」の方向に切り換えます。

電源をスタンバイにする

■ 主電源がオンの時のみ、リモコンの〈電源〉ボタンを押すと、電源がスタンバイ状態になります。再度リモコンの〈電源〉ボタンを押すと、スタンバイ状態が解除され、電源がオンになります。

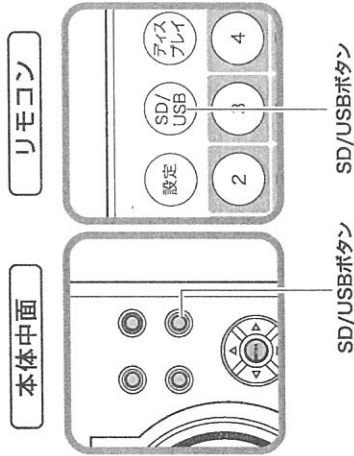
※長期間本製品を使用しない場合は、必ず主電源をオフにしてください。



再生モードを切り換える

■ 再生するメディアの再生モードを切り換える事ができます。あらかじめ、複数のメディアをセットしてください。(→P.21)

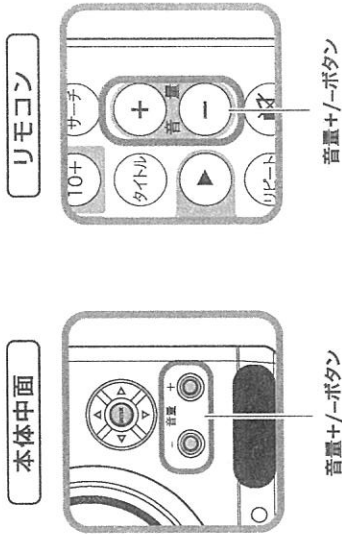
- ①再生停止の状態では本体/リモコンの〈SD/USB〉ボタンを押す。
- ②画面左上に表示される「接続中のメディア一覧項目」より、本体/リモコンの〈ナビゲーション〉ボタン ▲▼ボタンを押して、お好みの「メディア」を選択します。
- ③本体/リモコンの〈決定〉ボタンを押して、選択を確定します。
- ④選択した各メディアの読み込みが開始します。



基本操作 -2-

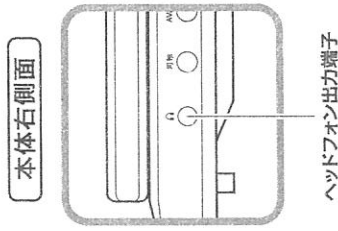
音量の調節

■ 本体中面、もしくはリモコンの〈音量+/-〉ボタンを押して音量を調節します。〈音量+〉ボタンを押すと音量が上がリ、〈音量-〉ボタンを押すと音量が下がります。



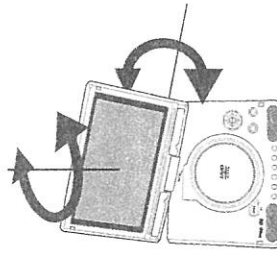
ヘッドフォン/イヤホンを使用する

■ 本体右側面のヘッドフォン端子に付属のヘッドフォン/イヤホンを接続して音声を聞くことができます。接続すると、音声は本体のスピーカーから出なくなり、ヘッドフォン/イヤホンから出るようになります。音量を最小にしてから接続してください。

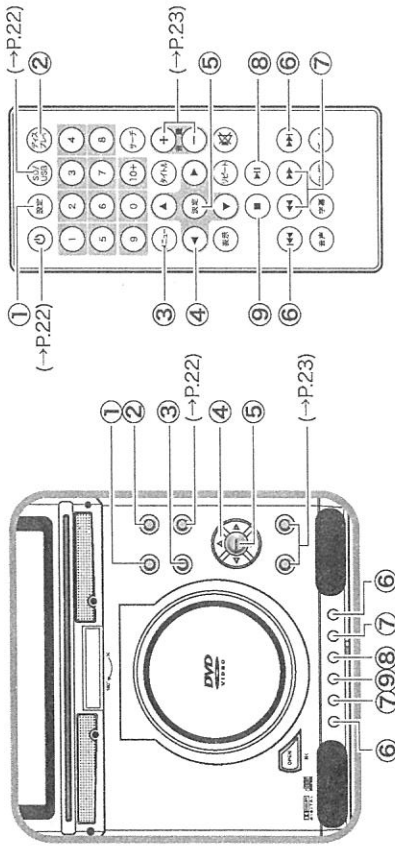


モニター部を回転させる

■ モニター部には回転 2 軸ヒンジを搭載しているため、様々な向きに変えて映像を楽しむことができます。縦方向に 180°、左方向に 180°に回転させることができます。※右方向に回転させることはできません。



本体中面



① 設定ボタン

○ ディスクの停止中に**〈設定〉**ボタンを押すと、設定画面が表示されます。(→P.28)

② ディスプレイボタン

○ **〈ディスプレイ〉**ボタンを押すと、モニタの表示 / 無表示の切り換えをします。

③ メニューボタン

○ **〈メニュー〉**ボタンを押すと、ディスクのメニュー画面に戻ることができます。(DVD 再生時)

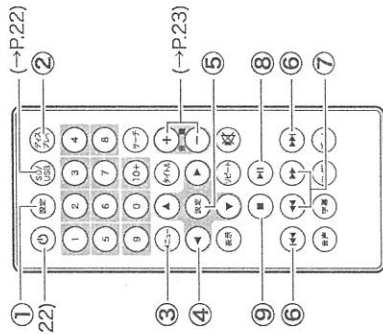
④ ナビゲーション(▲▼◀▶)ボタン

○ このボタンはメニュー画面や各種設定画面などでの操作に使用します。
○ **〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと、項目を上下左右に移動することができます。

⑤ 決定ボタン(本体表示:ENTER)

○ このボタンはメニュー画面や各種設定画面などでの操作に使用します。
○ **〈決定〉**ボタンを押すと、選択中の項目を決定することができます。

リモコン



⑥ スキップ・前/スキップ・次ボタン

○ ディスクの再生中に**〈スキップ・前〉**ボタンを押すと、前のチャプター/トラックにスキップします。
○ ディスクの再生中に**〈スキップ・次〉**ボタンを押すと、次のチャプター/トラックにスキップします。

⑦ 早戻し/早送りボタン

○ ディスクの再生中に**〈早送り〉**ボタンを押すと、早送り再生をします。
○ ディスクの再生中に**〈早戻し〉**ボタンを押すと、早戻し再生をします。
○ それぞれのボタンを押すことに、2 倍→4 倍→8 倍→16 倍→再生 (通常) に切り換わります。

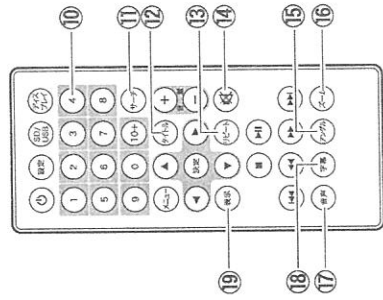
⑧ 再生/一時停止ボタン

① ディスクが停止 / 一時停止状態の時に**〈再生〉**ボタンを押すと、ディスクが再生されます。
② ディスクが再生状態の時に**〈一時停止〉**ボタンを押すと、ディスクが一時停止されます。
※再生と一時停止は同一ボタンで操作します。

⑨ 停止ボタン

① 再生時に**〈停止〉**ボタンを 1 度押すと、再生が一瞬停止されます。停止した箇所から再生を再開する場合は、**〈再生〉**ボタンを押します。
② ディスクの再生時に**〈停止〉**ボタンを 2 度押すと、再生が完全に停止されます。

リモコン



⑩ 数字ボタン

○ プログラム作成、暗証番号入力、CD のトラックの直接選択、ディスクのタイトル/チャプター/時間指定等、数字入力をする際に使用します。

⑪ サーチボタン

○ **〈サーチ〉**ボタンを押すと、画面にサーチ画面が表示されます。数字ボタンでそれぞれ項目を入力指定すると、指定された場面より再生を開始します。
※表示ボタンでディスク情報を確認できます。

⑫ タイトルボタン

○ **〈タイトル〉**ボタンを押すと、ディスクのタイトル画面に戻ることができます。
※ この機能は CD では使用できません。

⑬ リピートボタン

○ 再生中に**〈リピート〉**ボタンを押すと、繰返し再生を設定をおこないます。ボタンを押す毎にリピートの設定が切り換わります。

⑭ 消音ボタン

○ 再生中に**〈消音〉**ボタンを押すと、音声か0 になります。再度**〈消音〉**ボタンを押すか、**〈音量+ / -〉**ボタンを押すと、消音設定が解除されます。

⑮ アングルボタン

○ **〈アングル〉**ボタンを押すと、現在再生中の映像のアングル (カメラ角度) を切り換えられます。
※ この機能はアングル切替機能搭載のディスク再生時のみ、使用できます。

⑯ ズームボタン

○ **〈ズーム〉**ボタンを押すと、表示倍率を切り換えることができます。押す毎に設定を変更できます。
Q1 → Q2 → Q3 → オフ

⑰ 音声ボタン

○ **〈音声〉**ボタンを押すと、DVD ディスクに記録されている音声言語を切り換えることができます。
※ 音声の切り換えは、複数の音声記録されているディスクを再生している時に可能です。

⑱ 字幕ボタン

○ **〈字幕〉**ボタンを押すと、ディスクに記録されている字幕表示を切り換えることができます。
※ 字幕の切り換えは、複数の字幕言語が記録されているディスクを再生している時に可能です。

⑲ 表示ボタン

○ **〈表示〉**ボタンを押すと、現在再生中のディスクの各種情報をモニタに表示します。

音楽CDを再生する

音楽CDや、CD-DAフォーマットで記録された音楽用CD-R/RWの再生に対応しています。
 ※CD-DAフォーマットの音楽用CD-R/RWは、録音終了時にファイナライズが必要です。
 また、上記の条件を満たしても、記録の状態によっては再生できない場合があります。

音楽CDをセットする

- ①電源をオンにします。
- ②本体の〈トレイディスク開〉ボタンを押してディスクトレイを開き、CD ティスクをセットします。
- ③ティスクトレイを閉じます。
- ④自動的に再生が始まります。

再生の基本操作

再生/一時停止

○本体/リモコンの〈再生/一時停止〉ボタンを押して、再生/一時停止を設定します。

停止

①再生時に本体/リモコンの〈停止〉ボタンを1度押すと、再生が一旦停止されます。停止した箇所から再生を再開する場合は、〈再生〉ボタンを押します。

②ティスクの再生時に〈停止〉ボタンを2度押すと、再生が完全に停止されます。

スキップ/早戻し/早送り

①本体/リモコンの〈スキップ前/次〉ボタンを押して、前/次にスキップします。

②本体/リモコンの〈早戻し/早送り〉ボタンを押して、早戻し/早送り再生します。

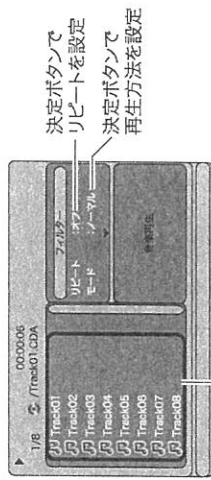
曲番号指定

①リモコンの〈数字〉ボタンを押して曲番号を入力します。

②指定した曲の再生が開始します。

本ページ記載の他に色々な機能があります。
 本書P.22~25をご参照ください。

【音楽CD再生画面】

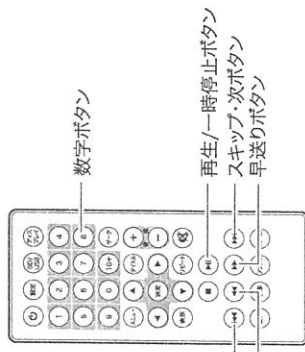


トラック一覧

決定ボタンで
リピートを設定

決定ボタンで
再生方法を設定

リモコン



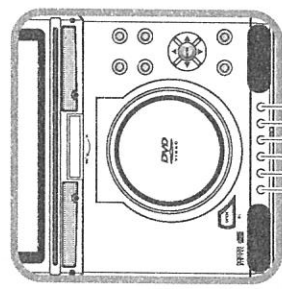
数字ボタン

再生/一時停止ボタン

スキップ・次ボタン

早戻しボタン

本体中面



早戻しボタン

停止ボタン

早送りボタン

スキップ・前ボタン

再生/一時停止ボタン

いろいろなファイルを再生する

本製品では動画、音楽(WMA/MP3)、静止画(JPEG)ファイルを再生することができます。お好みの対応ファイルを記録した各メディアを用意してください。
 各種メディアの本製品へのセット方法は、『P.21メディアをセットする』を参照してください。

基本操作方法

- ①再生可能なファイルなどが記録されたメディアを本製品にセットします。
- ②読み込みが完了すると、右記のファイル一覧画面が表示されます。
- ③〈ナビゲーション〉ボタンを押して、選択したいフォルダやファイルに移動します。
- ④フォルダを選択する場合は本体/リモコンの〈決定〉ボタンを押します。
- ⑤再生したいファイルに移動したら、〈決定〉ボタンを押してファイルの再生を開始します。

■ファイルの再生は、フォルダ内のファイルを上から順に再生していきます。

再生の基本操作

スキップ/早戻し/早送り

①本体/リモコンの〈スキップ前/次〉ボタンを押して、前/次にスキップします。

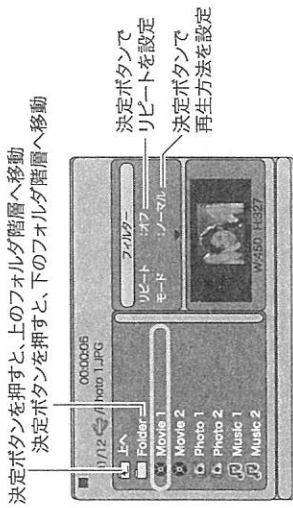
②本体/リモコンの〈早戻し/早送り〉ボタンを押して、早戻し/早送り再生します。(静止画ファイルには対応しません。)

リピート機能

〈リピート〉ボタンを押してリピート再生を設定することができます。詳細についてはP.25を参照してください。画面上にあるリピート項目より同設定ができます。

ズーム機能

表示しているファイルをズームすることができます。(音楽ファイルには対応しません) 詳細についてはP.25を参照してください。



決定ボタンを押すと、上のフォルダ階層へ移動

決定ボタンを押すと、下のフォルダ階層へ移動

決定ボタンで
リピートを設定

決定ボタンで
再生方法を設定



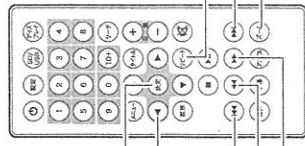
各種アイコン

音楽

動画

写真

リモコン



決定ボタン

ナビゲーションボタン

スキップ・前ボタン

早戻しボタン

早送りボタン

再生/一時停止ボタン

スキップ・次ボタン

ズームボタン

本ページ記載の他に色々な機能があります。
 本書P.22~25をご参照ください。

索引

・表示できないコードがある時は、文字化けを起こす場合があります。
 ・全てのファイルは、バージョンやビットレート、設定やサイズなどによっては再生できない場合があります。

設定メニューにて、本製品の環境設定をおこないます。

設定の基本操作

●あらかじめ本体の電源をオンにします。(設定の操作は本体とリモコンの両方で操作が可能です。)

① 〈設定〉ボタンを押します。

※メディアの読み込み中は設定をおこなえません。読み込みが終わるまでお待ちください。

② 〈ナビゲーション〉ボタンを押して、メインメニュー項目を選択します。

③ 〈ナビゲーション〉ボタンを押して、サブメニュー項目へ移動します。

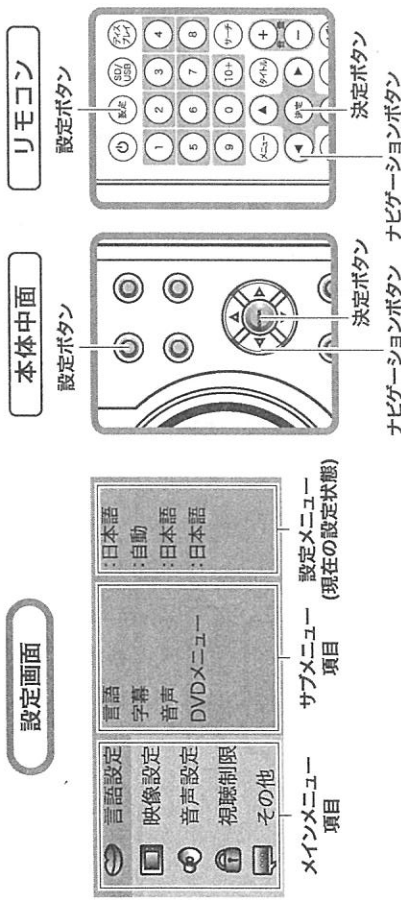
④ 〈ナビゲーション〉ボタンを押して、サブメニュー項目を選択します。

⑤ 〈ナビゲーション〉または〈決定〉ボタンを押して、設定メニューへ移動します

※〈ナビゲーション〉ボタンを押すと、選択を中止して前のメニュー項目に戻ることが出来ます。

⑥ 上記の手順でお好みの設定メニュー項目を選択したあと、〈決定〉ボタンを押します。

⑦ 設定操作を終了するときは、再度〈設定〉ボタンを押します。



言語設定

■ 言語 メニュー画面の言語を日本語と英語から選択することができます。

※ 以下の言語設定は、ディスクに収録されていない言語は選択することはできません。

■ 字幕 字幕の言語を選択することができます。

■ 音声 ディスク再生時の音声の言語を選択することができます。

■ DVDメニュー ディスクのメニューの言語を選択することができます。

注意

・ディスクによっては自動的に設定の言語にならない場合があります。
 ・設定は再生を停止してからおこなってください。

映像設定

■ テレビサイズ

接続するテレビの形状に合わせて、優先したい画面形状を設定することができます。

4:3 通常の画面サイズ。ワイド画像は映像の左右部分がカットされ見えません。

16:9 ワイドの画面サイズ。

■ 映像モード

DVDに記録されている映像タイプに適した設定をします。

フルサイズ フルスクリーンにサイズ調整した映像が表示されます。

オリジナル オリジナルサイズの映像が表示されます。

自動 自動的に歪みのないようにサイズ調整した映像が表示されます。上下または左右に黒い帯が出ます。

バンスキャン 縦横比4:3画面に設定されます。ワイド画像の左右部分がカットされます。

■ テレビシステム

本製品をテレビに接続する際の映像出力方式の設定を行うことができます。

本製品はNTSC(米国、日本、その他)と、PAL(ヨーロッパなどの国)の両方の映像出力方式に対応しています。お使いのテレビの方式に合わせて設定してください。

● 日本でご使用の場合は「NTSC」または「自動」に設定します。

■ スマートピクチャー

画面の明るさを設定します。

標準 標準画質。

ブライト 明るい画質。

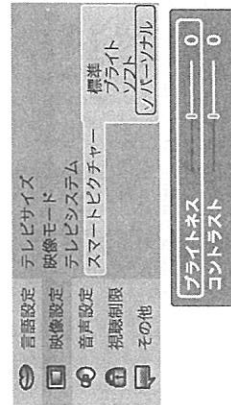
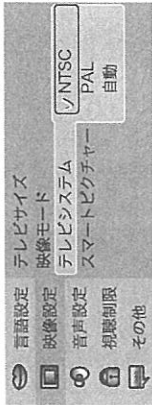
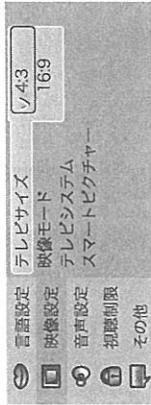
ソフト やわらかな画質。

パーソナル 詳細設定ができます。(以下参照)

「ブライトネス」「コントラスト」を(ナビゲーション)ボタンを押して選択したあと、(ナビゲーション)ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

注意

・テレビシステムは正しく設定しないと、画像や音声の再生が乱れることがあります。
 ・DVDには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、本設定の画面形状通りに再生されないことがあります。
 ・プレーヤー本体を4:3のテレビに接続した状態で「16:9」を選ぶと、再生画面に水平方法の歪み、縦方向の縮みが生じます。お使いのテレビに合わせて設定を行ってください。



音声設定

■ デジタル出力

オフ
アナログ端子でテレビやオーディオ機器と接続しているときに選択します。

PCM
接続される外部のアンプに未加工のデジタル音声信号(Dolby Digital)を直接入力せず、本機でデジタル音声信号を加工し出力する必要があるときに選択します。

RAW
接続される外部のアンプに未加工のデジタル音声信号(Dolby Digital)を直接入力し、外部のアンプにて個々の音声信号変換ができるとき(デコード機能があるとき)に選択します。通常はRAWで接続し、信号入力がない場合はPCMに切り換えてください。

※同軸デジタル音声出力(→P.17)をおこなう場合に、本設定をします。

■ ダウンサンプリング

サンプリングの設定ができます。

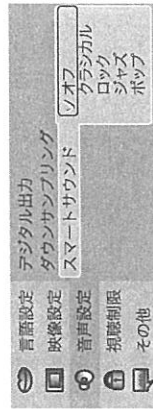
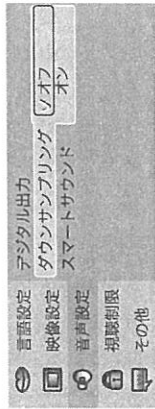
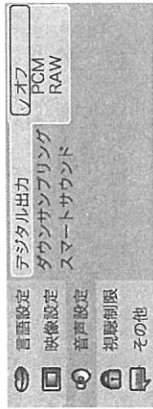
オフ
サンプリング周波数が96kHzで出力されます。96kHzに対応しているアンプまたはデコーダーに接続しているときに選択します。

オン
サンプリング周波数が48kHzで出力されます。96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーに接続しているときに選択します。

■ スマートサウンド

音質を設定します。以下の設定項目があります。

- オフ
- クラシカル
- ロック
- ジャズ
- ポップ



注意

・接続する外部機器の取扱説明書を良くお読みになってから、本製品を接続してください。

視聴制限設定

■ 視聴制限

視聴制限のある映像ソフトなどの場合、映像および音声の視聴レベルを制限することができます。設定にはパスワードを必要とします。

● 視聴レベルの設定

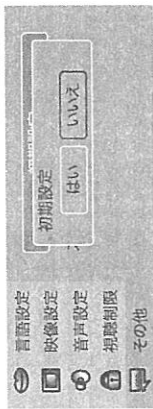
- ① (ナビゲーション) ボタンでサブメニュー項目に移動し、(決定) ボタンを押してください。パスワードの入力ウィンドウが表示されます。
- ② リモコンの(数字) ボタンでパスワードを入力し、(決定) ボタンを押します。パスワードが正しかった場合、「正しいパスワード」と表示されます。その表示が消えたあとに、再度(決定) ボタンを押します。
- ③ (ナビゲーション) ボタンでお好みの視聴レベルを選択し、(決定) ボタンを押して設定を確定します。

※本製品のパスワードは「8888」です。

その他設定

■ 初期設定

本製品で行った各種設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。



■ スクリーンセーバー

オンに設定した場合に5分間、無操作状態が続くとモニター保護のために、スクリーンセーバーが作動します。

※再生中はスクリーンセーバー機能は働きません。



注意

・パスワードの取り取りには十分ご注意ください。

故障かな・・・?と思ったら

●故障かな・・・?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	処置・確認
接続したテレビに画像が映らない 乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 テレビの入力切り換えは正しいですか。テレビの入力切り換えを、本製品からの画像が映るようになりかえてください。 AVケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込みます。 テレビシステムの設定が間違っている可能性があります。設定を確認してください。
映像の動きが遅る	<ul style="list-style-type: none"> 長時間同じ画面を表示していると、画面を変えた時に残像が発生する場合があります。表示する映像を変えたり、一度電源をオフにすると正常に戻ります。
電源が入らない (画像も音声も出ない)	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 主電源スイッチがオフになっていませんか。スイッチの位置を確認してください。 充電電池の電池残量が無くなった可能性があります。充電してください。 ディスプレイ表示を無表示に設定していませんか。本体/リモコンのディスプレイボタンを押して確認してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> AVケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込みます。 AVケーブルでつないでいる機器の電源が入っていますか。 音量が0または消音になっていませんか。音量+ボタンで音量を上げてください。
色がでない	<ul style="list-style-type: none"> 「ブライトネス」や「コントラスト」などの設定がずれていませんか。
画像や音声か乱れることがある	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイが汚れている可能性があります。ディスプレイをきれいにしてください。
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする	<ul style="list-style-type: none"> コピー防止機能が働いている可能性があります。本製品とテレビを直接接続してください。
再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> メディアが正しくセットされているか確認してください。 本製品では再生できない種類のメディアの可能性があります。メディアの種類を確認してください。 ディスプレイを裏返しに入れていませんか。確認してください。 ディスプレイが汚れている可能性があります。ディスプレイをきれいにしてください。 視聴制限設定がされていますか。設定を解除/変更してください。
ディスプレイが決められた通りの再生 ができない	<ul style="list-style-type: none"> リピート再生などをしていませんか。確認してください。
操作ボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 静電気やノイズなどの影響により本製品が動作しなくなっている可能性があります。主電源を入れ直すか、電源プラグを抜き、もう一度差し込んでみてください。
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> 電池の極性が表示通り正しく入っているか確認してください。 電池を新しいものと交換してみてください。 リモコンと本体の距離が開きすぎていませんか? リモコンと本体の間に障害物があるとリモコンの信号が本体に届かないことがあります。 本体のリモコンの信号の受光部に強い光等が当たっていませんか?
操作を受け付けない	<ul style="list-style-type: none"> 一旦主電源をオフにし、再度主電源をオンにして操作してみてください。

仕様

液晶タイプ	9型ワイドTFT液晶
アスペクト比	16:9
再生可能メディア	DVD-VIDEO、DVD+R/+RW、DVD-R/+RW(CPRM対応含む)、音楽用CD、CD-R/+RW、SDメモリーカード、MSカード、USBメモリ
対応フォーマット	DVD-VIDEO、CD-DA、MP3、WMA、JPEG、MPEG4
SDメモリーカード	最大 2GB 対応
映像方式	NTSC / PAL
画面表示言語	日本語 / 英語
音声最大出力	スピーカー 1W x2、
入出力端子	映像音声出力端子 x1、同軸デジタル音声出力端子 x1、USB端子 x1、カードスロットx1、ヘッドフォン出力端子 x1
電源	本体:DC入力端子 12V ・ACアダプター使用時 AC100~240V 50/60Hz ・シガーソケット電源アダプター使用時 DC12V ・内蔵充電電池
消費電力	約 10 W
外形寸法	(W)250 x (H)43 x (D)190 mm (突起部除く)
質量	約 1080 g (バッテリー含まない)
使用環境	温度: 5 ~ 35°C (結露なきこと)

○すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

- ファイナライズ済みのDVD-R/+RW(ビデオのみ)、DVD+R/+RWはDVDビデオとして再生できますが、使用するディスプレイの特性、汚れ、傷、または記録状態や記録機器、記録ソフト等の特性などにより再生できない場合があります。
- CD-DAのフォーマットで記録された音楽用CD-R/+RWも再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。
- CPRM方式で記録されたディスプレイは、再生できない場合があります。

液晶画面について

- 以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。
- 一部に常時点灯、または常時点灯しない画面が存在する場合があります。
 - 明るさにむらが生じる場合があります。
 - 太陽光、ライトなどが当たると画面が真えにくくなります。

保証とアフターサービス

◎ 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されており、保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。(保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。)

◎ 修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「トラブルシューティング」をよくお読みいただき、それでも解決しない場合には下記までご相談ください。

本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差がある場合がございますがご了承ください。
本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。